

令和3年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
東北そば研究会開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔
作物生産推進部副部会長
畑作園芸研究領域長 佐々木英和

1. 趣旨

東北地域は、そばの作付面積が17,000ha（令和2年）で、北海道の25,700haに次ぐ国内有数の産地となっている。東北地域におけるそば産地のさらなる振興のためには、基本技術の励行による生産の安定化、実需者ニーズに沿った品質・ロットの確保、持続的な販売体制の構築などにより経営の安定化を図ることが重要である。また、そばの新たな需要や販路を開拓し、産地の知名度の向上等を図りつつ地域振興に向けて取り組むことも重要である。このため、東北そば産地の振興方策について意見交換を行う。

2. 開催日時 令和4年2月9日（水） 13:30～16:00

3. 開催方法・場所 利用するWeb会議システム：Zoom
（仙台合同庁舎A棟8階講堂においてオフライン参加可能）
所在地：仙台市青葉区本町3-3-1（仙台合同庁舎A棟8階講堂）

4. 議事

(1) 基調報告

- 1) 生態型に着目したソバ品種系統の栽培適性と東北地域における湿害対策の取り組み
（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門 竹島亮馬 氏
- 2) 宝のそばで村おこし
農事組合法人宝谷 理事 本間与一 氏

(2) 情勢報告

- 1) そばをめぐる状況について
農林水産省
- 2) 各県のそば振興の現状と課題等について
各県担当者

(3) 情報・意見交換

5. 参集範囲

東北各県の公設試験研究機関・行政機関・普及指導機関、生産者、実需者、その他（国研）農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター水田輪作研究領域長（東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会長）が必要と認めた者

6. 主催

（国研）農研機構東北農業研究センター
農林水産省東北農政局

7. 連絡先

事務局：東北農政局生産部園芸特産課 梅木 康孝

〒980-0014 仙台市青葉区本町3丁目3番1号仙台合同庁舎A棟6階

電話：022-221-6193（課直通） ファクシミリ：022-217-4180（代表）

（会議運営、資料提出等の詳細については、別途連絡します。）

8. その他

(1) 会場での参加

・会場は参加者同士の間隔を開け定期的に換気を行い、受付及び会場入口に手指用消毒薬を設置します。

・当日に発熱、咳、喉の痛み等の症状がある場合は、参加を見合わせていただきますようお願いいたします。

・参加される方は、必ず不織布マスクの着用をお願いします。

・ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。

(2) オンラインでの参加

・参加者ご自身のパソコンやスマートフォン等を用いた参加となります。事前に Zoom を利用できる環境の準備をお願いします。

・アプリケーションのダウンロードや参加中の通信料は参加者の負担となります。

・「招待 URL」を他者へ教える等の行為は行わないでください。